

事業所における自己評価結果

事業所名		札幌市かしわ学園		公表日		令和8年2月16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	0	・個別対応が必要なときや、目的やねらいに併せてクラスでは難しい設定遊びなどを行うなど、使い方を工夫している。 ・人数によってクラス数や編成を柔軟に変更するなどしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	1	・個別に支援しないといけない状況があったときにもう少し職員の人数が欲しいと思うことがあった。 ・クラス担任の他に、フリー保育士が配置されていることで、個別対応をしながら小集団ならではのクラス活動を行うことができた。	・職員の配置基準を遵守するとともに、子どもの状況や活動内容に応じて柔軟な人員配置を行えるよう、今後も体制の工夫を継続する。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	0	・玩具棚に写真を貼り、分かりやすい環境づくりがされている。トイレや園庭に出る時にクラスごとの部屋の構造にあった導線が確保されている。 ・施設はバリアフリー化され極力段差を少なくし、写真カードなどを用いて一日の流れをわかりやすく伝えている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	0	・消毒や日々の整理整頓や安全点検を実施している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	18	・外部評価は、義務ではないため実施していない。	・内部監査や保護者による事業所評価を行い全体で共有し、改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0			

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマルなアセスメントとしては遠城寺式を利用している。また、日々の行動観察を園共通のアセスメントシートを使用して確認している。 ・活用まではまだできていないが、遠城寺式について職員研修に取り入れた。アセスメント表は同じ様式を用いて行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠城寺式発達検査方法を全職員が研修を受け、一定のスキルを身に付けている。園として共通した活用に努める。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して行う遊びもあるが、個々に合わせて様々な経験が積めるよう日々工夫している。 ・子どもの様子と支援計画にあった様々な活動を経験できるように設定している。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団での活動が基本とする中ではあるが、子の姿に合わせて必要に応じて個別の時間を取り入れていることもある。また、集団の中で個別にどんな配慮が必要なのかを整理し、支援をしている。 ・保育士が専門職と連携して計画書を作成し支援している。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録のほか、子どもの様子等については口頭で共有している。 ・職員全体に向けては毎日ではないが、必要に応じて適宜行っており、またヒヤリハット等は翌日には全体に共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も日々、職員間で振り返り、必要に応じて改善するよう努める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会議出席者の報告などを受け、全体で共有している。 ・機会はなかったが、参加要請が来た場合は、担任や児発管が参加する体制は考えている。 		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	0			
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0			

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	18	0		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18	0	・医師や専門職から助言を受けたり、研修に参加したりしている。 ・ちくたくの心理士とカンファレンスを行った り、内部、外部の研修には希望する職員ができるだけ参加できるようになっている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	17	1	・参加する職員は限られているが、自区の協議会だけではなく、各区が開催する子ども部会の研修会に参加している。 ・直接参加する機会は今年度はなかったが、出席者からの報告で内容を共有している。	・今後も機会を捉えて、積極的に参加するようにしていく。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてス				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	17	1	・系列園の保育園や地域の小学生とは年数回交流を実施した。 ・詳細はわからないが、近隣小学校の授業の一環として協力しているようだ。	・全職員への周知を図る。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0	・連絡帳や登園時の会話、必要に応じて面談も行い、保護者との共通理解を行っている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	0			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17	1	・父母の会はないが、親子レクやクラス懇談などで保護者同士が交流する機会を設けるとともに、運動会では、きょうだい競技を盛り込んでいる。 ・行事できょうだい同士が会うことはあるが、年齢や家庭環境の差もあるため、幼児期にきょうだい支援をする難しさも感じる。	・園児の家庭環境等に寄り添い、家族支援、きょうだい支援に取り組むように努める。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	0		

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	18	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に地域住民の招待はしていないが、地域交流として小学校との交流を行っている。 ・地域との交流はもていない。行事に関しても、場所の狭さから、普段来られないきょうだいや祖父母等に来てもらうことを優先して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合同庁舎となっているため、安全管理上行事等での地域住民との交流は、難しいが近隣の小学生との交流など機会を捉えて検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等とともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を実施した際は連絡帳にメモを貼ったり、様子を口頭で伝えるなど周知している。 ・家族への周知について、どのように行っているか等、把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に児童発達支援の携わっていない職員への周知がやや不足していた。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	0			